

II 評価の方法

1. 最終評価の目的

計画における各目標の達成状況について評価し、課題を解決するため事業の見直しや、より効果的な取組について検討し、次期計画に反映することを目的とします。

2. 評価の方法

(1) 評価基準

健康目標と分野別目標の指標項目について、策定時の基準値と最終評価値（直近値）との比較を行い、その達成状況について下記の基準により評価を行いました。

評 価		数値基準（*）
	目標を達成	100%以上
	策定時より改善	10%以上 100%未満
	変化なし	-10%以上 10%未満
×	策定時より悪化	-10%未満
	判定ができない （基準値を中間評価時設定としていた指標）	

(*) 数値基準 計算方法

$$\frac{\text{【最終評価値】} - \text{【基準値（計画策定時の値）】}}{\text{【目標値】} - \text{【基準値（計画策定時の値）】}} \times 100$$

(2) 最終評価に係る調査の実施

最終評価実施にあたり、次の調査を行い基礎資料としました。

調査名	調査期間	調査対象	回答数
令和4年度 健康づくりに関する調査	令和4年12月～ 令和5年1月	無作為に抽出した20～70歳代 の市民 1,500人	有効回答数 621件
令和4年度 健康づくりに関する調査 （たばことアルコールの アンケート調査）	令和4年11月	大館市立中学校3年生 438人	有効回答数 438件